

1 一珠会のご供養について（永代供養塔納骨と合同法要）

当会の永代供養の内容は、**埋葬後の年回法要（一周忌から三十三回忌）・大施餓鬼会・毎年の春秋彼岸供養・お盆供養**となります。ご遺骨は三十三回忌まで六角塔（永代墓）に骨壺のまままで安置埋葬し、三十三回忌以後、観音合祀墓（観音様の足元の石棺）に合葬を基本とします。

1. 年回法要（月例法要）（毎月第三日曜・午後三時より・都合により変更あり）

本堂において合同法要（他会員と一緒に）の形で、その月に年回に当たる故人のご法要を住職が勤めます。親族縁者の法要参加は自由です。原則として、毎月第3日曜日・午後3時より執り行うことを予定しています。都合により日時等変更もありますので、法要参加の折は必ず当寺までご確認ください。合同年回法要では、故人への**卒塔婆供養のお申し込みのある場合のみ**塔婆料（規定）を御志納戴きたく思います。また故人の法要を合同法要ではなく、身内だけで営みたい、という通常の法要のご要望もお受けできますが、その際はご随意の法要料をお納め願います。

2. 大施餓鬼会（特別法要）（毎年5月24日・午後一時より法話・午後二時より法要）

『大施餓鬼会』のご供養も当会の永代供養に含まれます。当寺の檀信徒の皆様がご先祖や有縁無縁の萬霊ならびに当会会員諸精霊のご供養のためにお集まりになる、年一度の特別法要です。ご希望により会員様にもご通知を差し上げますので、宜しければご出席いただきたく思います。**ご出席の場合や卒塔婆供養のお申し込みのある時のみ**、法要料（ご随意）あるいは塔婆料（規定）をお納め願います。

3. 春秋彼岸・お盆供養（季節法要）は、住職一人で勤めさせていただきます。今のところ、ご参加いただける合同法要は考えておりません。どうぞみなさま銘々で永代供養塔へ墓参にいらしてください。

【葬儀について】

ご葬儀は当寺の永代供養の法要の中には含まれません。葬儀は故人との最後の別れの式であり、ご遺族やご本人のご事情やご希望も様々です。先に荼毘（火葬）に付してのち、納骨と同日に行う遺骨葬もあれば、通夜・葬儀と2日に渡る通常の葬儀の希望もあり、その規模も一様ではありません。しかし重要なのは故人を悼み、見送る心だと思います。どのような形のご葬儀でも、可能な限り当寺住職が勤めさせていただきます。また、御布施や戒名料についてよくお尋ねがありますが、ご随意のものをお納めいただければと思います。

葬儀についてのお気がりやご希望がありましたらお聞きしたいと思います。どうぞご相談ください。無理のない、納得のいく形でのお見送りをご一緒に考えていきたいと思っております。特に、お一人で当会に入会される方からは、綿密なお話を伺っておきたいと思っております。また当寺では、簡略な葬儀として**遺骨葬(49日忌等法要・埋葬を含む)の生前依頼手続き**も受け付けております。詳細については当寺にお尋ね下さい。